

額装
表装
画材

絵具屋三吉
〒231-0032
横浜市中区不老町 1-4-12
TEL 045-641-9318
営業時間 11:00～18:00
定休日 日曜・月曜

公募展・グループ展・個展への搬入・搬出から地方への梱包発送、会場設営まで美術展覧会のことは全てお任せください。

ARTON

(有)アートン
TEL 0466-48-8488

〒252-0821
神奈川県藤沢市用田 211-4
FAX: 0466-48-8488
E-mail: arton.event@gmail.com
URL: https://www.arton.events

海外展への出品もお手伝いたします。詳しくは web で。

1987年よりパリで開催のソシエテナショナルボザールの輸出搬入代行を毎年おこなっています。パリでの個展をお考えの方、会場探しや輸出などについてはお問い合わせください。

横浜市民ギャラリー展覧会スケジュール 2019年10月～2020年1月

※2019年8月10日時点の情報です。主催者の都合により情報変更されることがあります。

2019 10月

主催 [1階/地下1階]
新・今日の作家展2019 対話のあとさき
9/20～10/12
鎌田友介、原美樹子、守家、門馬美香の作品を展示
主催：横浜市民ギャラリー

横浜カメラクラブ(Y.C.C)写真展 [3階A]
10/1～10/7 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～15:00
会員23名によるそれぞれの想いをカラーモノクロで発表
主催：横浜カメラクラブ(Y.C.C)

伊藤信幸写真展「巷」 [3階B]
10/1～10/7 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00
変貌を続ける都会の「巷」を主題に77点の作品を展示
主催：伊藤信幸

第59回 アーネスト美術展 [2階]
10/1～10/7 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～16:00
油彩、日本画、立体等 約60点を展示
主催：アーネストクラブ

第12回 え塾展 [3階]
10/8～10/13 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～15:00
絵画教室「え塾」による、油彩・水彩・日本画など200点
主催：横浜美術学院/え塾

2019年 第30回 神奈美会員展 [2階A]
10/8～10/14 10:00～17:00 ※初日14:00～、最終日～16:00
絵画、陶芸、染・織、創作人形等、会員の日頃の創作作品を展示
主催：神奈川美術協会

横浜陶藝倶楽部「卓」 [2階B]
10/8～10/14 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～16:00
30名の会員がそれぞれの「卓」を演出。出品数約500点
主催：横浜陶藝倶楽部

第57回 日書家展 [全室展示]
10/16～10/20 10:00～17:00 ※最終日～16:00
書道作品・漢字・かな・近詩・大字作品、400点の展示
主催：日本書道家連盟

写真教室Felice 生徒作品展2019 [3階A]
10/23～10/27 11:00～17:00 ※最終日～16:00
写真作品約100点と各自のテーマをまとめたポートフォリオ
主催：写真教室Felice

神奈川県水画美術展 [3階B/2階/1階]
10/23～10/28 10:00～17:30 ※最終日～15:00
水画展、中心に幅広く又矢形先生による水画展の席面有楽しい1日
主催：神奈川県水画美術協会

第31回 雨聲会 横浜書展 [地下1階]
10/23～10/28 10:00～17:00 ※最終日～15:00
子供の半紙作品や、淡墨を中心とした一般の書道作品を展示
主催：雨聲会 横浜支部

第75回 ハマ展 [全室展示]
10/30～11/11 10:00～18:00 ※最終日～14:00
第75回記念ハマ展の開催委員会友一般応募者の入選作品を展示
主催：横浜美術協会

やまゆり会和紙ちぎり絵作品展 [1階]
11/12～11/17 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～15:00
和紙を手でちぎって作品をつくります。染の美しさで表現
主催：山ゆり会

フォトサークルB&W 第21回グループ展 [地下1階]
11/13～11/17 10:00～18:00 ※最終日～16:00
共通課題「観」と自由作品のモノクロ写真展
主催：フォトサークルB&W

第50回 公募 文化書道神奈川連合会 書道展 [3階]
11/14～11/17 10:00～17:00 ※最終日～16:00
県内の一般公募及び会員・児童による書道展、約200点
主催：文化書道神奈川連合会

第75回記念選抜(現展100人展) [全室展示]
11/20～11/25 10:00～18:00 ※最終日～15:00
「現展100人展」油彩、写真、工芸、版画、立体、約130点
主催：現代美術家協会(現展)

第59回 神奈川県女流美術家協会展 [全室展示]
11/27～12/2 10:00～18:00 ※最終日～16:00
県内の美術を志す女性の公募展で美術の普及と地域文化の向上に寄与
主催：神奈川県女流美術家協会

12月 年末年始(2019年12月29日～2020年1月3日)は休館します。

12月 年末年始(2019年12月29日～2020年1月3日)は休館します。

第56回 神奈川県高等学校書道展 [全室展示]
12/4～12/8 10:00～18:00 ※最終日～16:00
高校生による書道作品の展示。県下の公私立高校の作品約800点
主催：神奈川県高等学校文化連盟 書道専門部会

第32回 神奈川書家三十人展 [3階]
12/11～12/15 10:00～18:00 ※最終日～16:00
神奈川を代表する書家30人による新作の展覧会
主催：神奈川新聞社

第46回 高校写真展 [2階]
12/11～12/15 10:00～18:00 ※最終日～16:00
県下の高校写真部員による写真展。力作揃いの約300点を展示
主催：神奈川県高等学校文化連盟写真専門部会

Art School+Yokohama Student Exhibition.No.6 [1階]
12/11～12/15 10:00～18:00 ※最終日～16:00
アートスクール横浜に通う生徒の絵画作品展示発表会
主催：株式会社 雪下堂美術(アートスクール横浜)

第66回 春陽会神奈川研究会展 [全室展示]
12/18～12/23 10:00～18:00 ※最終日～15:00
創立96年となる春陽会。油彩、水彩等を中心に約180点程
主催：春陽会 神奈川研究会

橘学苑高等学校デザイン美術コース 14期卒業作品展 [3階]
12/25～1/5 10:00～18:00 ※初日15:00～
「時間」をテーマに高校生16名による卒業作品展と学校紹介の展示
主催：橘学苑高等学校デザイン美術コース

立尾 美寿紀個展「花の象(カタチ)」 [1階/地下1階]
12/25～1/6 10:00～18:00 ※最終日～16:00
「花の象(カタチ)」を描いた大作、日本画、水彩、デッサンなど
主催：東海大学 文化部連合会 写真部

第40回記念 公募 静雅書展 [3階]
2/5～2/10 10:00～18:00 ※最終日～16:00
書作品(漢字、かな、近代詩文書、少字数)約120点
主催：静雅書道会

神奈川県高等学校定時制通信制生徒作品展 [2階]
2/5～2/10 10:00～18:00 ※最終日～15:00
県内の定時制通信制に通う高校生による総合作品展
主催：神奈川県高等学校定時制通信制振興会

2020年度 (第42期) 絵画教室 生徒募集

期間：2020年4月～2021年3月(1年間)
講座：23コース：レギュラー12、専科11(各クラス20～35名)
費用：レギュラー：21回/年 35,500円(自由な画材で描く講座)
専科：18回/年 34,500円(人物、風景、油彩、水彩、デッサン等)

◆桜木町駅より徒歩3分/多彩な講座/経験豊かな講師陣
◆募集案内は2019年11月中旬に配布開始します。
◆申込締切りは2020年1月上旬まで(予定) ※定員を超えたコースは抽選にて決定します。

NPO法人 横浜美術友の会 〒231-0062 横浜市中区桜木町 2-2 階 階ビル 6 階
TEL 045-651-9313 FAX 045-323-9841 https://yokobitemo.com/

日本画材料

横浜市中区不老町 1-4-12
TEL 045-641-9318
営業時間 11:00～18:00 日曜・月曜定休
http://www.sankichi.com

貸館担当から

横浜市民ギャラリーで展覧会を開催しませんか 空室は抽選なしで利用可能

10名以上で出品されるご利用団体は、利用希望月の1年前の抽選会に参加して展示室を予約することができます。抽選後の空室は、随時先着で申込みを受け付けています。10名未満のグループのお客様でも展示室を利用することができます。ご利用希望日の6ヶ月前の月の1日午前10時(1月のみ4日午前10時)より、先着順で空室申込が可能です。ぜひ、皆さまのご利用をお待ちしております。

横浜美術館開館30周年記念 「オレンジリー美術館コレクション」ルノワールとパリに恋した12人の画家たち

2019年9月21日(土)～2020年1月13日(月・祝) 10:00～18:00
※会期中の金曜・土曜は20:00まで開館(ただし2019年9月27日(金)～28日(土)、2020年1月10日(金)～12日(日)は21:00まで) ※入館は開館の30分前まで
休館日：木曜日(12月26日は開館)、2019年12月28日(土)～2020年1月2日(木)パリのオレンジリー美術館が所蔵するルノワール、マティス、ピカソ、モネなど、印象派とエコール・ドパリのヨーロッパ屈指のコレクション146点のうち13人の画家による約70点が、21年ぶりにまとまって来日する貴重な機会です。

【お問合せ】〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1
TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル) FAX 045-221-0317
https://artexhibition.jp/orangerie2019/

催し物ピックアップ 横浜美術館 鳥寄駅 みなとみらい線「みなとみらい駅」JR-横浜駅地下鉄「桜木町駅」

催し物ピックアップ 横浜市立学校総合文化祭 [全室展示]
横浜市立児童書写展・中学校書写展
横浜市立学校の児童生徒の書写作品を展示
主催：横浜市教育委員会事務局 学校教育企画部 小中学校企画課

平成31年度 横浜市立学校総合文化祭 図画工作・美術・書道作品展 [全室展示]
1/29～2/3 10:00～18:00 ※最終日～13:30
横浜市立小、中、高、特別支援学校の児童生徒による作品展
主催：横浜市教育委員会事務局 学校教育企画部 小中学校企画課

催し物ピックアップ 横浜市民ギャラリーあざみ野 鳥寄駅 東急田園都市線 横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリーvol.10 しかくのなかのリアリティ

2019年10月12日(土)～11月4日(月・休) 10:00～18:00 ※10月28日(月)休館
横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1-2 入場料無料
出品作家：加茂昂、松本奈央子、水野里奈、山岡敬明、横野明日香

美術という枠や社会的評価にとらわれず、さまざまなジャンルの現在進行形のアートを紹介するシリーズ展。絵画表現のアクチュアリティをテーマに、絵画を表現手段としている5人のアーティストによるグループ展を開催します。

【お問合せ】〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内
TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674 http://artazamino.jp/

催し物ピックアップ 黄金町エリアマネジメントセンター 鳥寄駅 京急線「日ノ出町駅」「黄金町駅」

黄金町バザール2019-ニュー・マネージャー

2019年9月20日(金)～11月4日(月・休) 11:00～18:00
※毎週土曜と11月3日(日・祝)は20:00まで開場
休場日：月曜日(月曜祝日の場合は翌火曜日)
会場：京急線「日ノ出町駅」から「黄金町駅」間の高架下スタジオ、他
料金：会期中有効のフリーパス700円 ※高校生以下無料

「黄金町バザール」は、横浜・黄金町エリアを舞台とするアートフェスティバルです。12回目となる今回は、「ニュー・マネージャー」をテーマに、まちなかで展開されるアートだからこそ生まれる人と人、人とアートの関係に注目します。8ヶ国15組のアーティストが参加し、新作展示やイベントを行います。

参加アーティスト：アカサブックストア、アズラック・タンニャリット、天草ミオ、エレナ・ノックス、シヅクリシュナン、程仁環(チェン・レンペイ)、曹澗(ツァオ・シュウ)、土本亜祐美、常木理早+栗田伸雄、ナリッサ・プランウィングス、ニコワ・パラダイス、葉葉翠、吉田ゆう、吉本直紀、レイモンド・ホラチック

【お問合せ】特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター
〒231-0054 横浜市中区黄金町1-4 高架上スタジオSite-B
TEL 045-261-5467 FAX 045-325-7222
www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2019/

since1964

横浜市民ギャラリーは、2014年に桜木町駅から丘を登って徒歩10分のところへ移転しました。横浜・紅葉ヶ丘は、芸術と文化の丘。ここには歴史を誇る5つの公共文化施設があります。この秋、横浜・紅葉ヶ丘5館の文化施設が連携してイベントを開催! ぜひこの機会に5館を巡って、各施設の魅力に触れてください。ご来館をお待ちしております。

【イベント名】
「横浜・紅葉ヶ丘 5館連携事業 2019秋」
歩いてまいらん 巡ってまいらん 遊びにまいらん
紅葉ヶ丘まいらん

伝統、アート、たても、ちょっとマルシェでスタンブラリー
2019年10月10日(木)～10月14日(月・祝)
それぞれの施設が、この時期に魅力的なイベントを開催します。イベントの詳細は、各施設にお問い合わせください。

紅葉ヶ丘「まいらん」とは
神奈川県立音楽堂(Music Hall)、神奈川県立青少年センター(Youth Center)、神奈川県立図書館(Library)、横浜市民ギャラリー(Art Gallery)、横浜能楽堂(Noh Theater)この5つの施設の頭文字をとって「MYLAN」と表しています。

神奈川県立音楽堂 045-263-2567
「木のホール」として知られる日本最初の公立音楽専用ホール

神奈川県立青少年センター 045-263-4400
コンクリートの箱をくりぬいて作ったような大胆な建物と大きな庇が特徴

横浜市民ギャラリー 045-315-2828
1964年に開館し、開内を経て2014年に伊勢山に移転した市民のためのギャラリー

神奈川県立図書館 045-263-5900
大きなガラス・サッシュや穴あきのレンガブロックで明るく透明感あふれる建物

横浜能楽堂 045-263-3055
140年余りの歴史ある能舞台を持つ日本の古典芸能専門施設

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
横浜市民ギャラリー

横浜市民ギャラリーの総合情報誌
vol.66 2019年10月～2020年1月

アートヨコハマ

ART YOKOHAMA

66 2019.10～2020.01
Yokohama Civic Art Gallery
Art News Magazine

新・今日の作家展2019 対話のあとさき
The Ongoing Dialogue

催し物ピックアップ 黄金町エリアマネジメントセンター 鳥寄駅 京急線「日ノ出町駅」「黄金町駅」

黄金町バザール2019-ニュー・マネージャー

2019年9月20日(金)～11月4日(月・休) 11:00～18:00
※毎週土曜と11月3日(日・祝)は20:00まで開場
休場日：月曜日(月曜祝日の場合は翌火曜日)
会場：京急線「日ノ出町駅」から「黄金町駅」間の高架下スタジオ、他
料金：会期中有効のフリーパス700円 ※高校生以下無料

「黄金町バザール」は、横浜・黄金町エリアを舞台とするアートフェスティバルです。12回目となる今回は、「ニュー・マネージャー」をテーマに、まちなかで展開されるアートだからこそ生まれる人と人、人とアートの関係に注目します。8ヶ国15組のアーティストが参加し、新作展示やイベントを行います。

参加アーティスト：アカサブックストア、アズラック・タンニャリット、天草ミオ、エレナ・ノックス、シヅクリシュナン、程仁環(チェン・レンペイ)、曹澗(ツァオ・シュウ)、土本亜祐美、常木理早+栗田伸雄、ナリッサ・プランウィングス、ニコワ・パラダイス、葉葉翠、吉田ゆう、吉本直紀、レイモンド・ホラチック

【お問合せ】特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター
〒231-0054 横浜市中区黄金町1-4 高架上スタジオSite-B
TEL 045-261-5467 FAX 045-325-7222
www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2019/

催し物ピックアップ 黄金町エリアマネジメントセンター 鳥寄駅 京急線「日ノ出町駅」「黄金町駅」

黄金町バザール2019-ニュー・マネージャー

2019年9月20日(金)～11月4日(月・休) 11:00～18:00
※毎週土曜と11月3日(日・祝)は20:00まで開場
休場日：月曜日(月曜祝日の場合は翌火曜日)
会場：京急線「日ノ出町駅」から「黄金町駅」間の高架下スタジオ、他
料金：会期中有効のフリーパス700円 ※高校生以下無料

「黄金町バザール」は、横浜・黄金町エリアを舞台とするアートフェスティバルです。12回目となる今回は、「ニュー・マネージャー」をテーマに、まちなかで展開されるアートだからこそ生まれる人と人、人とアートの関係に注目します。8ヶ国15組のアーティストが参加し、新作展示やイベントを行います。

参加アーティスト：アカサブックストア、アズラック・タンニャリット、天草ミオ、エレナ・ノックス、シヅクリシュナン、程仁環(チェン・レンペイ)、曹澗(ツァオ・シュウ)、土本亜祐美、常木理早+栗田伸雄、ナリッサ・プランウィングス、ニコワ・パラダイス、葉葉翠、吉田ゆう、吉本直紀、レイモンド・ホラチック

【お問合せ】特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター
〒231-0054 横浜市中区黄金町1-4 高架上スタジオSite-B
TEL 045-261-5467 FAX 045-325-7222
www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2019/

催し物ピックアップ 黄金町エリアマネジメントセンター 鳥寄駅 京急線「日ノ出町駅」「黄金町駅」

黄金町バザール2019-ニュー・マネージャー

2019年9月20日(金)～11月4日(月・休) 11:00～18:00
※毎週土曜と11月3日(日・祝)は20:00まで開場
休場日：月曜日(月曜祝日の場合は翌火曜日)
会場：京急線「日ノ出町駅」から「黄金町駅」間の高架下スタジオ、他
料金：会期中有効のフリーパス700円 ※高校生以下無料

「黄金町バザール」は、横浜・黄金町エリアを舞台とするアートフェスティバルです。12回目となる今回は、「ニュー・マネージャー」をテーマに、まちなかで展開されるアートだからこそ生まれる人と人、人とアートの関係に注目します。8ヶ国15組のアーティストが参加し、新作展示やイベントを行います。

参加アーティスト：アカサブックストア、アズラック・タンニャリット、天草ミオ、エレナ・ノックス、シヅクリシュナン、程仁環(チェン・レンペイ)、曹澗(ツァオ・シュウ)、土本亜祐美、常木理早+栗田伸雄、ナリッサ・プランウィングス、ニコワ・パラダイス、葉葉翠、吉田ゆう、吉本直紀、レイモンド・ホラチック

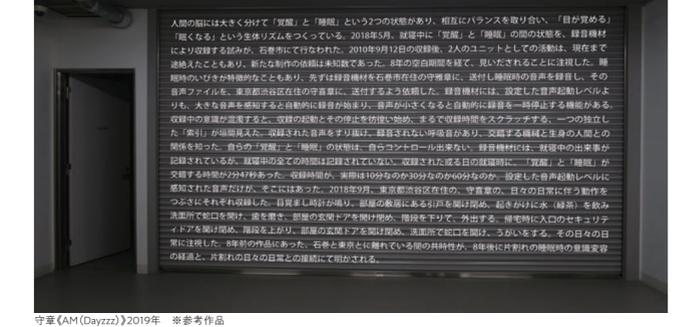
【お問合せ】特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター
〒231-0054 横浜市中区黄金町1-4 高架上スタジオSite-B
TEL 045-261-5467 FAX 045-325-7222
www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2019/

「新・今日の作家展」は、横浜市民ギャラリーが開館した1964年から40年にわたり開催した「今日の作家展」の理念を継承し、2016年より始動した現代美術の動向を紹介する年次展覧会です。本年は「対話のあとさき」を副題に、国内外で活動する4組の作家により構成します。制作の過程で出会う人やもの、場所、出来事、歴史に向かい、時に対話を繰り返しながらつくられる作品は、作家の意識を超えて様々な意味と価値が生じ、そのかたちをつくり上げながらも変容していく可能性を秘めています。そして、作品を見る私たちにも新たな対話をもちたてていきます。建築に内在する時代性や政治性をひも解き、歴史を再考しながら複数の視点や声を重ね合わせてひとつの作品として提示する鎌田友介。何気ない光景や人びとの姿など、対象と直接の言葉を交わさず日常を拘い上げるようなスナップショットを撮り続けてきた原美樹子。双子のユニットで活動を展開し、「私」と「他者」を遠ざけるメディアに着目しながら、その距離感や境界を作品に反映する守章。東日本大震災以降、故郷・福島県相馬市と東京を行き来しながら目にした風景を描く連作や、伝統行事の相馬野馬追(そまのまおい)を主題にした水墨画を制作する門馬美喜。本展は、作家や作品、また展覧会全体を通じて、コミュニケーションの在り方、他者や共同体との関係性、つながりを見つめ直し、異なる価値観の共有とその可能性を探ります。

- 出品作家**
鎌田友介 KAMATA Yusuke
原美樹子 HARA Mikiko
守章 MORI Akira
門馬美喜 MOMMA Miki



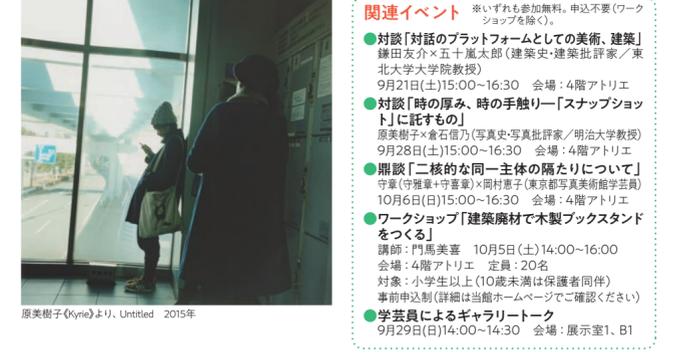
鎌田友介「The House」2018年/木、鏡、ガラス、3ビデオプロジェクション/9552×8230×6273mm/「How Little You Know About Me」Courtesy of MMCA, Korea./Photo by Moon Jene Hee./Supported by NICE Korea ※参考作品



新・今日の作家展2019 対話のあとさき
 2019年9月20日(金)～10月12日(土) 10:00～18:00(入場は17:30まで)
 横浜市民ギャラリー 展示室1、B1 入場無料 会期中無休
 主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)
 助成：公益財団法人花王芸術科学財団、芸術文化振興基金



門馬美喜「Route90ヶヶ/城南島一相馬」2013-2018年/インストレーション 展示風景(2018年/ART FACTORY 城南島「OPEN SPACE 2018」) ※参考作品



原美樹子(Kyria)より、Untitled 2015年

横浜市市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.16 山口勝弘

「新・今日の作家展」の前身である「今日の作家展」は、横浜市民ギャラリーの開館以来、40年にわたって開催された歴史ある展覧会です。東京オリンピックが開催された1964年、第1回展の出品者の一人が山口勝弘さん(1928～2018)です。瀧口修造を精神的リーダーとし、武満徹、秋山邦晴ら14人が集まった前衛芸術グループ「実験工房」のメンバーとして活躍し、その後も時代ごとに新しい素材やメディアを用いて作品を発表するなど、美術の新しい地平を切り開いてきました。第1回展当時、現代美術展の会場としてトップクラスの広さがあった初代横浜市民ギャラリー(現在の施設は3代目)に、その頃取り組んでいた、風のように布を骨組みに張った彫刻を主に22点出品しており、「その後の横浜が、現代美術の主要な発表場所としてスタートを切った重要な展覧会だった」と後に振り返っています。メディアアートの先駆者として大きな功績を残す一方、後進の育成にも熱心に取り組み、1977年より筑波大学芸術学系総合造形コース教授を務めるなど、長年に渡り教鞭を執りました。当館で今夏開催した「横浜市こどもの美術展2019」で特別展示を行った絵本作家・メディアアーティストの岩井俊雄さん(1962年生まれ)も、筑波大学時代の教え子の一人です。晩年、横浜市青葉区に住むなど横浜との縁も深く、2014年には当館の姉妹館・横浜市民ギャラリーあざみ野で、生前最後となる個展を開催しました。制作への意欲を燃やし続け、昨年5月に90歳で逝きました。

「横浜wo発掘suru vol.5 山口勝弘展—水の宴容」会場風景、横浜市民ギャラリーあざみ野、2014年 photo Ken KATO

自立心をはぐくむ 子どものためのアトリエ講座
 横浜市民ギャラリーでは幼児・児童を対象に、描きつくりアトリエ講座「ハマキッズ・アートクラブ」を開催しています。アートは、技術だけではなく「自分で考える」「自分でできる」「自分でする」という自立心が必要な活動です。子どもたちが大人になるために必要な自立心を得ることができる活動とも言えます。「ハマキッズ・アートクラブ」は、活動を通じて子どもたちに「自分で考える」「自分でできる」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験してもらうことに目的があります。自分で最後までがんばるからできた作品ができあがる、そんな経験をしてもらえたらと考えています。



ハマキッズ・アートクラブの様子

講師・大竹美佳
2/16「粘土をつくらう」
 お家にあるモノを使って粘土がつけられちゃいます!
 みんなで「コネコネ」してカラフル粘土をつくりまわす。

※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。

バイオリンをつくらう
 木材や馬の毛を使って手づくりのバイオリンをつくりまわす。
 出来上がったら音を出してみよう!
 11月3日(日) 13:30～16:00
 講師 三又治彦 (NHK交響楽団バイオリン1次首席)
 対象・定員 小学4～6年生 25名(抽選) 会場 4階アトリエ
 参加費 1,500円(材料費込) 申込締切 10月19日(土) 必着 後援:横浜アーツフェスティバル実行委員会

油絵に挑戦!
 油絵の具ってどんなえの? 初めてでも大丈夫。
 モチーフをよく観察して、小さなキャンバスに油絵を描いてみよう!
 12月14日(土) 13:30～16:00
 講師 東麻奈美(アーティスト)
 対象・定員 小学4～6年生 25名(抽選) 会場 4階アトリエ
 参加費 2,000円(材料費込) 申込締切 11月30日(土) 必着

ステロールアート
 ステロールを切って貼って、どんなかたちができるかな? 好きなものをつくってみよう!
 2020年1月19日(日) 13:30～16:00
 講師 川崎和美(彫刻作家)
 対象・定員 小学1～3年生 25名(抽選) 会場 4階アトリエ
 参加費 1,500円(材料費込) 申込締切 2020年1月4日(土) 必着

粘土をつくらう
 ひまつの材料をこねて色をつけたら、カラフルな紙粘土に自分で粘土をつくらってあそびまわす。
 2020年2月16日(日) 10:30～12:00
 講師 大竹美佳(彫刻作家)
 対象・定員 幼稚園・保育園の年長に相当する幼児 25名(抽選) 会場 4階アトリエ
 参加費 1,500円(材料費込) 申込締切 2020年2月1日(土) 必着

申込方法
 ①往復はがき
 ②希望の講座名
 ③氏名(ふりがな)
 ④年齢・年齢
 ⑤郵便番号・住所
 ⑥電話番号
 ⑦希望の講座名
 ⑧氏名(ふりがな)
 ⑨年齢・年齢
 ⑩郵便番号・住所
 ⑪電話番号

クリエイティブな時間を過ごす 大人向けの講座
 横浜市民ギャラリーでは、創作活動やレクチャーを体験することができる「大人のためのアトリエ講座」を開設しています。(つくって学ぶ)実技講座と、(きいて学ぶ)教養講座を合わせたプログラムを組むことで、制作する楽しさを感じたりさまざまな知識を取り入れたりする場をつくっています。

音を奏でる人体を描く—クロッッキーとデッサン
 音を奏でる体のしなやかな動きを、さまざまな角度から見て描写します。
 1回目 10月31日(木) ……楽器を持つ人体をとらえる(クロッッキー、ポーズ各種)
 2回目 11月7日(木) ……楽器を持つ人体をとらえる(デッサン、固定ポーズ)
 3回目 11月14日(木) ……演奏する姿を描く(クロッッキー・デッサン、固定ポーズ)
 4回目 11月21日(木) ……楽器を持つ人体を描く(デッサン、固定ポーズ)・講評
 14:00～16:30
 講師 清野晃代(画家)
 定員 20名(応募多数の場合は抽選)
 参加費 12,000円
 持ち物 鉛筆、木炭、コンテ、パステル等のデッサン道具(油絵具以外)、クロッッキー横(F6～木炭紙A4サイズ)、固定ポーズデッサン用の紙(木炭紙大用紙か木炭紙)
 ※カルトン(画板)、イーゼルは無料提供
 申込締切 10月10日(木) 必着 ※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。 講師参考作品(鉛筆デッサン)

巨匠の素描に触れて学ぶ
 巨匠たちが選んだ素描を模写することを通して、2次元の中に3次元を表現します。
 1回目 11月29日(金) ……レクチャー、素描のトレーニング
 2回目 12月6日(金) ……実制作(模写、下描き)
 3回目 12月13日(金) ……実制作(模写、描き込み)
 4回目 12月20日(金) ……実制作(模写、完成)、総評
 13:30～16:00
 講師 石田淳一(画家)
 定員 20名(応募多数の場合は抽選)
 参加費 12,000円(材料費込)
 申込締切 11月8日(金) 必着 ※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。 講師参考作品(ジョアンニ・アントニオ・ボッティチオによる素描「肖像における幼児の顔部」より)2019年

はじめての日本画 絹に描く
 古くから日本画で使われてきた絹に、墨や岩絵具を使って花を描きます。
 12月7日(土) 13:00～17:00
 講師 武田裕子(日本画家)
 定員 50名(応募多数の場合は抽選)
 参加費 5,500円(材料費込)
 申込締切 11月16日(土) 必着 ※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。 講師参考作品《雲中花》2017年、絹に彩色

レクチャー 写真家 奥村泰宏・常盤とよ子夫妻が写した戦後の横浜
 横浜市民ギャラリーにも作品が収蔵されている奥村泰宏と常盤とよ子の写真の魅力に迫ります。
 2020年2月11日(火) 14:00～15:30
 講師 西村健(横浜市発展記念館調査研究員)
 定員 50名(応募多数の場合は抽選)
 参加費 1,000円
 申込締切 2020年1月28日(火) 必着 ※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。 戦争孤児の保護施設 1950(昭和25)年 奥村泰宏氏撮影 提供横浜市発展記念館

申込後の流れ
 ●抽選結果は申込締切後、全員に「返信はがき」「メール」「FAX」のいずれかでお知らせします。締切日を1週間過ぎても返信がない場合はお問合せください。
 ●多い多くの方が参加できるように、無断キャンセルは行わないでください。
 ●参加費は、講座当日にアトリエへお支払いください。大人のためのアトリエ講座は、レクチャー以外、参加費をお込みいただいた時点で参加が確定します。
申込共通の注意事項
 ●親子と、きょうだいで年齢が該当する場合は、連名で申込みます。お友達、ご親戚と一緒にのお申込みはできません(ハマキッズ・アートクラブ)。
 ●複数の講座に申込みの場合は、別々にお申込みください。
 ●定員に達していない場合は、講座開催の前日まで電話での申込みを受け付けます(先着順)。
 ●定員が実施可能な人数に満たない場合は、開講を見合わせる場合があります。
 ●申込の際に提供された個人情報、申込された事業にのみ利用し、その他の目的で利用することはありません。

夏休みは、たくさん子どもたちでにぎわいました!
 夏休みの恒例「横浜市こどもの美術展」は今年で52回目。市内在住・在学の12歳以下の子どもたちから絵画作品2,686点の応募があり、一堂に展示されました。自分の絵が飾られているのを見つけてうれしそうな子どもたちや、個性豊かな作品に感心する大人のみなさんなど、会期中は大勢のお客様が連日にぎわいました。

今年のテーマ「家」。絵本「100かいてのいえ」シリーズの作者・いわいとしおさんの特別展示では、絵本原画や手づくりおもちゃなどがぎゅーりと並び、のぞくと向こう側が逆さまに映って見えるいわいさんお手製ダンボールカメラも大人気でした。自由参加ワークショップのコーナーでは、参加者が自由な発想で描いた家をどんどんつなげていき、最終日には壁を埋め尽くす巨大な家に子どもも大人もすっかり熱中していただきました。また、ハマキッズ・アートクラブ参加者がダンボールでつくった「100かいてのいえ」の作品展示も力作がそろい、エンタランスを彩りました。週末には、プロの演奏家をめざす「金の卵」たちや、みなとみらいSuper Big Bandによる「夏のこども音楽会」、いわいさんの「スペシャル絵本ライブ」も盛り上がり、笑顔あふれる10日間となりました。



会場の様子。今年もたくさん子どもたちの作品が来場者を楽しませてくれました。 photo Ken KATO



自由参加ワークショップ。今年もたくさん子どもたちの作品が来場者を楽しませてくれました。 photo Ken KATO

【展覧会デー】
横浜市こどもの美術展2019
 2019年7月19日(金)～7月28日(日) 全10日間 10:00～18:00
 横浜市民ギャラリー 展示室B1、1、2、3、1階エントランス
 出品作品：家部門727点、自由テーマ部門1,959点
 =合計2,686点
 入場者：観覧者15,498名、イベント参加者669名
 ボランティアのべ78名、インタンのべ12名、
 =合計16,257名
【関連事業】
 ●いわいとしお「100かいてのいえ」展
 ●自由参加ワークショップ「みんなてつなごう! 100かいてのいえ」
 ●ハマキッズ・アートクラブ「ダンボールでつくらう! 100かいてのいえ」作品展示
 ●横浜みなとみらいホール連携 夏のこども音楽会 7月20日(土)、21日(日)
 ●いわいとしお「スペシャル絵本ライブ」7月27日(土)
 主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)
 協賛：株式会社ヤマハミュージックリテイリング 横浜普及グループ
 後援：横浜市教育委員会



横浜市市民ギャラリー
 〒220-0031横浜市西区宮崎町26-1
 TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033 http://ycag.yafjp.org/
 10:00～18:00(入場は17:30まで) 毎月第3日曜日、年末年始休館(2019年12月29日～2020年1月3日)
 http://facebook.com/ycag1964 @ycag1964

電車
 ●JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。
 ●京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。
バス
 ●市営バス103-292系統「戸部1丁目」から徒歩2～4分(横浜駅方面から103系統に乗り、戸部1丁目下車すると徒歩2分)
 ●市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分
 ●市営バス8-26-58-101-105-106系統「紅葉坂」から徒歩7分

ご利用ください 送迎車サービス
 桜木町駅⇔横浜市民ギャラリーを無料で巡回
 おからの不自由な方、高齢者へ配慮した無料送迎サービスです。車いすのまま、ご乗車可能です。定員9名と限りはございますが、どなた様でもご利用いただけます。ぜひご利用ください。平成30年度は、年間4万人以上の方にご利用いただきました。

【送迎車時刻表】

| JR桜木町駅発 | | 横浜市民ギャラリー発 | |
|---------|-------------|------------|-------------|
| 9 | 45▲ | 10 | 10▲ 30▲ 50▲ |
| 10 | 00▲ 20▲ 40▲ | 11 | 10▲ 30▲ 50▲ |
| 11 | 00▲ 20▲ 40▲ | 12 | 10▲ 30▲ 50 |
| 12 | 00▲ 20▲ 40 | 13 | 10 30 50 |
| 13 | 00 20 40 | 14 | 10 30 50 |
| 14 | 00 20 40 | 15 | 10 30 50 |
| 15 | 00 20 40 | 16 | 10 30 50● |
| 16 | 00 20● 40● | 17 | 10● 30● 45● |
| 17 | 00● 20● | 18 | 00● |

※火曜日は展示作業日のため▲印の運行がありません。
 ※月曜日、第3日曜日前日(日曜日)は撤去作業日のため●印の運行がありません。
 ※横浜市民ギャラリー主催の展覧会開催中は、曜日を問わず全ての便を運行します。
 ※第3日曜日、年末年始は休館日のため●印の運行がありません。また、展示のない日も全便運休です。
 ※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。